



Bicycle

Karate

Rugby

Boxing

SSI

Sports Science Institute

スポーツ能力の向上とキャリア形成を両立

スポーツ推薦入学試験
受験希望者用広報誌

2026



自由と進歩
法政大学



Kyudo



Table tennis

学部・学科の専門知識と

スポーツの専門知識を同時に追求

スポーツ・サイエンス・インスティテュート (SSI) とは、SSI 参加学部 (下記参照) に所属し、当該学部の専門科目を学ぶと同時に、SSI 生のために用意された SSI 科目 (スポーツ関連科目) を学ぶことができるスポーツ推薦入学者を対象とした特別プログラムです。

スポーツを科学的・文化的に捉えると同時に学部の専門分野を追求し、知識の融合を図ることで高度なスポーツ文化の担い手を育成します。

SSI に参加するためには

下記【1】および【2】の条件をすべて満たす必要があります。

- 【1】「スポーツ推薦入学試験」に合格し、SSI 参加学部・学科へ入学すること
- 【2】入学手続き時に、SSI への参加を希望すること
※入学手続き後はいかなる理由でも、SSI への参加を撤回することはできません。

◎ SSI 参加学部

法学部全学科、文学部全学科、経済学部 (経済学科・現代ビジネス学科)、社会学部全学科、経営学部全学科、国際文化学部国際文化学科、人間環境学部人間環境学科、現代福祉学部全学科、キャリアデザイン学部キャリアデザイン学科、デザイン工学部システムデザイン学科

◎ スポーツ推薦入試実施の体育会

アメリカンフットボール部、ボクシング部、自転車競技部、サッカー部、水泳部、スキー部、スケート部、相撲部、ハンドボール部、卓球部、テニス部、ソフトテニス部、野球部、準硬式野球部、バレーボール部、陸上ホッケー部、ヨット部、バスケットボール部、ラグビー部、陸上競技部、フェンシング部、空手部、バドミントン部、柔道部、重量挙げ部、レスリング部、剣道部、射撃部、ボート部、ゴルフ部、弓道部

SSI のカリキュラムの特長

◎ スポーツ関連科目を学べる

SSI 生は一般の学生が履修できない「SSI 科目」と呼ばれるスポーツ関連科目を学ぶことができます。卒業に必要な単位の約 3 分の 1 を SSI 科目で履修することができます。SSI 科目を学ぶことで、在学時の体育会活動に役立てられるだけでなく、卒業後にスポーツ指導やスポーツビジネスに携わるための専門知識を修得することができます。

◎ 所属学部の専門科目も学べる

SSI 科目だけでなく、所属学部の専門科目もしっかりと学ぶことができます。卒業に必要な単位の約半数は所属学部の専門科目を履修することになります。両方を学ぶことにより、卒業後の進路選択の可能性が大いに広がります。

Sports Science Institute



SSI 生のカリキュラムイメージ

SSI 科目	■SSI基礎科目	■SSI専門科目				
	コーチング学Ⅰ コーチング学Ⅱ スポーツ医学 スポーツ心理学 トレーニング科学 スポーツマネジメント スポーツ学入門 解剖生理学	スポーツ整形外科 アスリートヘルスマネジメント論 トップアスリート論 補完代替医療論 スポーツ文化論 スポーツ栄養学 ハイパフォーマンス栄養学	コンディショニング科学 機能解剖とリハビリテーション スポーツメンタルトレーニング論 身体の測定と評価 リーダーシップ論 チームビルディング論 スポーツビジネス論	スポーツリスクマネジメント論 スポーツ法学 アスリートキャリアデザイン演習 スポーツメディア論 スポーツ産業論 スポーツマーケティング論 アスリートキャリア論	スポーツ政策論 スポーツ情報戦略論 トレーニング理論と実践 スポーツ社会学 スポーツファンリレーション演習 スポーツ学演習 セルフケア論	
一般教養 科目	所属学部で履修可能な一般教養科目を修得					
学部専門 科目	所属学部の専門科目を修得					

※ SSI 専門科目は上記以外にも、約100 科目(学部主催科目)が開設されています。

※ 上記科目は、2025年度に開講している科目であり、2026年度には一部変更になる可能性があります。

SSI 科目紹介

■スポーツ医学

スポーツ指導者に必要な医学的知識を学習する。アスリートの健康管理や救急措置、身体の仕組みと働き、アスレティックリハビリテーション、トレーニング計画など、アスリートに欠かせない身体の問題に焦点を当て、スポーツ医学分野の知識を幅広く養っていく。

■トップアスリート論

スポーツ全般の中から一流スポーツ選手や監督・コーチについて、その経歴や考え方などを取り上げ、ディスカッション形式を交えて理解を深めていく。各自が日頃取り組んでいる競技及びそれ以外の競技のトップアスリートをより深く知り、視野を広げることを目的とする。

■コーチング学Ⅰ

スポーツ指導者としての考え方や指導方法を修得すると同時に、プレーヤーと指導者双方の視点でスポーツ活動を捉える重要性について考える。プレーヤーと指導者の望ましい関係とはどのようなものか。指導者に必要な知識を探究していく。

■スポーツマネジメント

スポーツ振興方策の基本、スポーツ事業計画の方法や組織のあり方について理解する。また、総合型地域スポーツクラブ運営の構造や地域に対する役割について学ぶと同時に、その多様性に応じた指導方法について学生が自発的に考えていく授業とする。

■スポーツ心理学

発育発達過程の身体的・心理的特徴やスポーツ・運動による心理的効果などメンタルマネジメントの重要性を考える。人間の発育発達過程とスポーツ行動を構成する心理的諸要因、またこれらの相互関係・構造について理解し、知識を深めていく。

教員紹介

教員名	身分	専門分野／掲載内容
朝比奈 茂	教 授	補完代替医療学、ホリスティック医学
荒井 弘和	教 授	スポーツ心理学
伊藤マモル	教 授	スポーツ医学、コンディショニング
井上 尊寛	准教授	スポーツ産業、スポーツマーケティング
魚住 智広	准教授	スポーツ社会学
片上 千恵	准教授	スポーツマネジメント、メディアトレーニング
越部 清美	教 授	舞踊教育学、体育教育学

教員名	身分	専門分野／掲載内容
杉本 龍勇	教 授	スポーツ経済学、スポーツ経営学
瀬戸 宏明	教 授	スポーツ医学、整形外科
中澤 史	教 授	スポーツ心理学
藤岡 成美	教 授	スポーツ政策、スポーツマネジメント
望月 拓実	専任講師	スポーツ経営学、スポーツマネジメント、スポーツ教育学
山田 快	教 授	スポーツ心理学、スポーツコーチング学
吉田 康伸	教 授	スポーツ方法学、コーチ学

Sports Science Institute



Field hockey

Figure skating

Skiing

卒業

学生 INTERVIEW

卒業生



鶴田 幸大

人間環境学部人間環境学科 重量挙部
山梨県立日川高等学校

大会実績

令和5年度 文部科学大臣杯 第69回 全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 89kg級 4位
令和6年度 第70回 全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会 96kg級 4位
令和6年度 第52回 東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 89kg級 5位
令和6年度 第48回 東日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会 89kg級 2位
令和6年度 文部科学大臣杯 第70回 全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 96kg級 6位

Q1. どうして法政大学に進学しようと思いましたか？

法政大学体育会重量挙部はオリンピックや世界で活躍する選手を数多く輩出しています。また、大学日本一を決める全日本大学対抗戦においても過去に20回の優勝を誇る強豪校です。そんな法政大学で、私も日本一になりたいと強く思い進学を決めました。それだけではなく、法政大学にはSSI制度があり、スポーツに関する専門的な知識を学ぶことができます。そこで得た知識は自分自身の競技力向上に繋がると思いました。

Q2. 授業と体育会活動の両立は大変ですか？

SSI制度のおかげで両立することができました。SSI生はほぼ毎日、部活動に励んでおり、並行して学業に取り組むのは非常に大変だと思います。ですが、SSI制度では、所属学部の専門科目に加え、スポーツに関する授業を受けられるため単位取得も順調に進めていく事ができました。また、他競技のSSI生と関わる機会ができ、キャンパスライフも充実しました。

Q3. SSIで好きな科目はありますか？

特に「スポーツメンタルトレーニング論」、「トレーニング理論と実践」の2つです。SSIの授業では「スポーツ心理学」や「スポーツ医学」、「スポーツビジネス」など多岐に渡り学ぶことができます。また、どの授業においても扱う内容の専門性が高く、自身の競技に活かせると思います。

Q4. 卒業後はどのような進路を考えていますか？

法政大学大学院 スポーツ健康学研究科へ進学し、ウエイトリフティング競技の不安尺度と競技能力に関する研究を行う予定です。また、高等学校の保健体育科の教員免許も取得したいと考えています。

Q5. 受験生へのメッセージ

大学生活を振り返ると非常に有意義な時間であったと感じています。部活動を通じて、競技力は勿論、人間力も向上し将来に繋ぐことのできる4年間だったと思います。大学での4年間は自分のやりたいことに専念できる貴重な時間です。そんな時間を法政大学で過ごしてみませんか？



S p o r t s S c i e n c e I n s t i t u t e

在学生



増田 青空

社会学部メディア社会学科 スキー部
新潟県立十日町総合高等学校

大会実績

2022年度全日本学生スキー選手権大会 リレー5位
2023年度全日本学生チャンピオン大会 10位

Q1. どうして法政大学に進学しようと思いましたか？

小学生の頃から続けてきたこの競技を、時間が許す限り全力で続けたいという思いで、大学への進学を決意しました。進学先を探している際に、法政大学のSSI制度があるということを大学のホームページ内で知り、部活動へ全力で取り組むことが出来る点に惹かれ入学しました。

Q2. 授業と体育会活動の両立は大変ですか？

SSI制度のおかげで、他の大学の学生よりも部活に専念できる時間を多く確保できたため、学校へ通いながらもどちらかに偏ることなく過ごすことができています。テスト期間はもちろん忙しいですが、SSI制度のおかげもあり、勉強も部活も両立しやすい環境で過ごしています。

Q3. SSIで好きな科目はありますか？

スポーツ心理学という授業がとてとても好きでした。練習意欲について、能動的か受動的かによるスポーツの継続率などがとても学びとなり、現在の部活動とも繋げて練習

へ取り組んでいます。将来的に必要なものだけではなく、今、選手として必要なことを気づかせてくれるきっかけにも繋がりました。

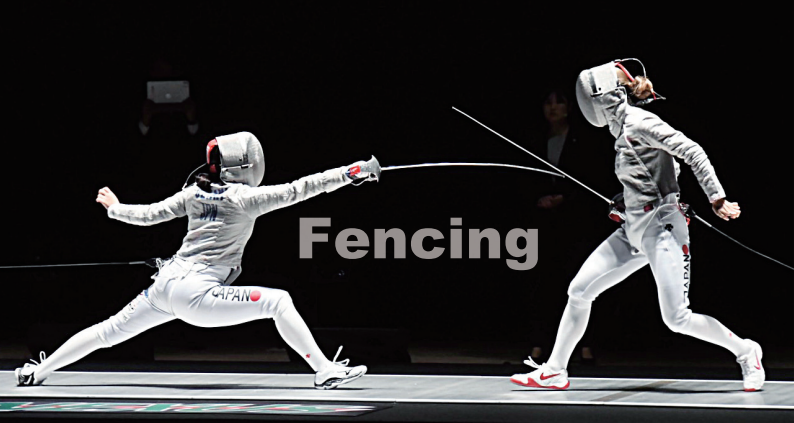
Q4. 卒業後はどのような進路を考えていますか？

中学生の頃からの目標だった、イベントプランナーになりたいと考えています。

Q5. 受験生へのメッセージ

大学生になるといろんな面からの縛りがなくなり、気が緩みやすくなります。何をしても守ってくれた大人がいた高校生とは違い、たとえ単位が取れなくても、あるいは提出物が間に合わなくても、すべて自己責任となります。楽しい大学生活を送るか、そうでなくなってしまうかは自分次第となります。自分の一つひとつの言動に責任を持ち、最後に楽しかったと思える選択が出来る大学生になれることを祈っています。そして、大学入学前にしか出来ないこともあります。今を全力で楽しみ、素敵な時間を築きあげてください。心から応援しています。





Fencing



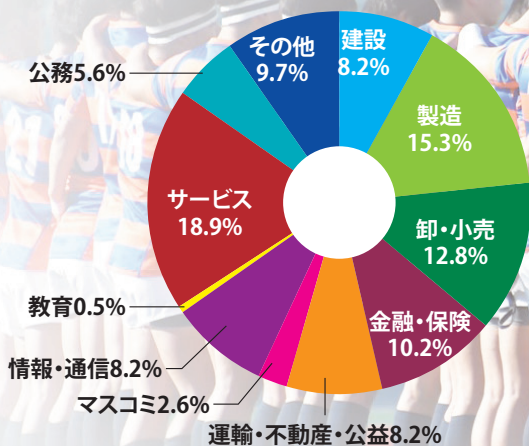
Ice Hockey

SSI 生の多彩な進路

卒業後の進路

SSI 生は学業とスポーツの両立を実践した経験を評価され、大手・優良企業に幅広く内定しています。

また、スポーツの専門知識に加えて所属する学部・学科の専門知識を学ぶため、特定の業界に特化せず、各学生の志向に合わせて業界全般にわたり就職していることも大きな特長です。



■主な就職先

東京海上日動火災保険株式会社、トヨタ自動車株式会社、日本生命保険相互会社、ハウス食品株式会社、株式会社長谷工コーポレーション、パナソニックホールディングス株式会社、株式会社三井住友銀行、東京消防庁、本田技研工業株式会社、株式会社ミキハウス、東京ガスカスタマーサポート株式会社、シャープ株式会社、アイリスオーヤマ株式会社、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社、株式会社NTTドコモ、京浜急行電鉄株式会社、独立行政法人住宅金融支援機構、大成建設株式会社、エン・ジャパン株式会社、富士通株式会社、みずほ証券株式会社、ミツウロコグリーンエネルギー株式会社、株式会社ワタナベエンターテインメント、株式会社日立柏レイソル、三菱UFJ信託銀行株式会社、日本テクノ株式会社、株式会社松屋、株式会社レオパレス21、株式会社熊谷組、コナミスポーツクラブ、三菱マテリアル株式会社、ENEOS株式会社、株式会社木下工務店、第一生命ホールディングス株式会社、TOTO株式会社、三菱重工業株式会社、明治安田生命保険相互会社、株式会社横浜DeNAベイスターズ、RIZAPグループ株式会社、日本製紙株式会社、全日空商事株式会社、日本郵便株式会社、株式会社北海道日本ハムファイターズ、ミズノ株式会社、東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)、県警察本部、地方銀行、地方テレビ局、地方公務員、教員

SSIで取得できる資格

SSIに参加し、すべてのSSI基礎科目を修得することで、(公)日本スポーツ協会公認の「スポーツコーチングリーダー」「各種コーチ1〜3」の資格を取得する上で必要な講習・試験の一部が免除されます(取得には別途費用がかかります)。卒業後は、これらの資格を利用してスポーツの発展に貢献することが期待されます。

※上記は2025年度時点で取得できる資格です。

◎スポーツコーチングリーダー

地域のスポーツクラブや少年団、学校運動部活動等において、安全・安心で基礎的なスポーツ指導や運営にあたるための資格です。

◎各種コーチ1〜3

地域のスポーツクラブ・少年団・学校運動部活動からトップリーグ・実業団までのコーチングスタッフとして、ふさわしい知識・技能を基に安全で効果的なスポーツ環境を提供したり、競技力を向上させ、プレーヤーや関係者の成長や幸福を支援するための資格です。

Sports Science Institute



Swimming



Handball



Q & A

Q

SSI は学部と何が違うのですか？

SSI は学部横断的な特別コースです。既存の学部に籍を置きながら、SSI 科目(スポーツ関連科目)と所属学部の専門科目を学びます。スポーツ関連科目と学部の専門科目の両方を学べることが、SSI の魅力です。

Q

SSI で学ぶためには、どの入学試験を受験すればよいのですか？

「スポーツ推薦入学試験」の合格者のみがSSI に参加することができます。

Q

SSI に参加するためには学費の他に特別な費用がかかるのですか？

特別な費用はかかりません。所属学部の学費を納めていただくだけです。

Q

卒業するとどのような学位が取得できるのですか？

所属する学部の学士が取得できます。

Q

合格した場合、必ずSSI に参加しなければならないのですか？

入学手続き時にSSI への参加希望の有無を確認します。入学後の変更は一切できませんので、よく考えて手続きをしてください。なお、合格者のほとんどがSSI を希望しています。

Q

SSI に参加すると卒業することが難しくなりますか？

卒業するために必要な総単位数は通常学生と変わりません。

Q

体育教員の免許を取得することはできますか？

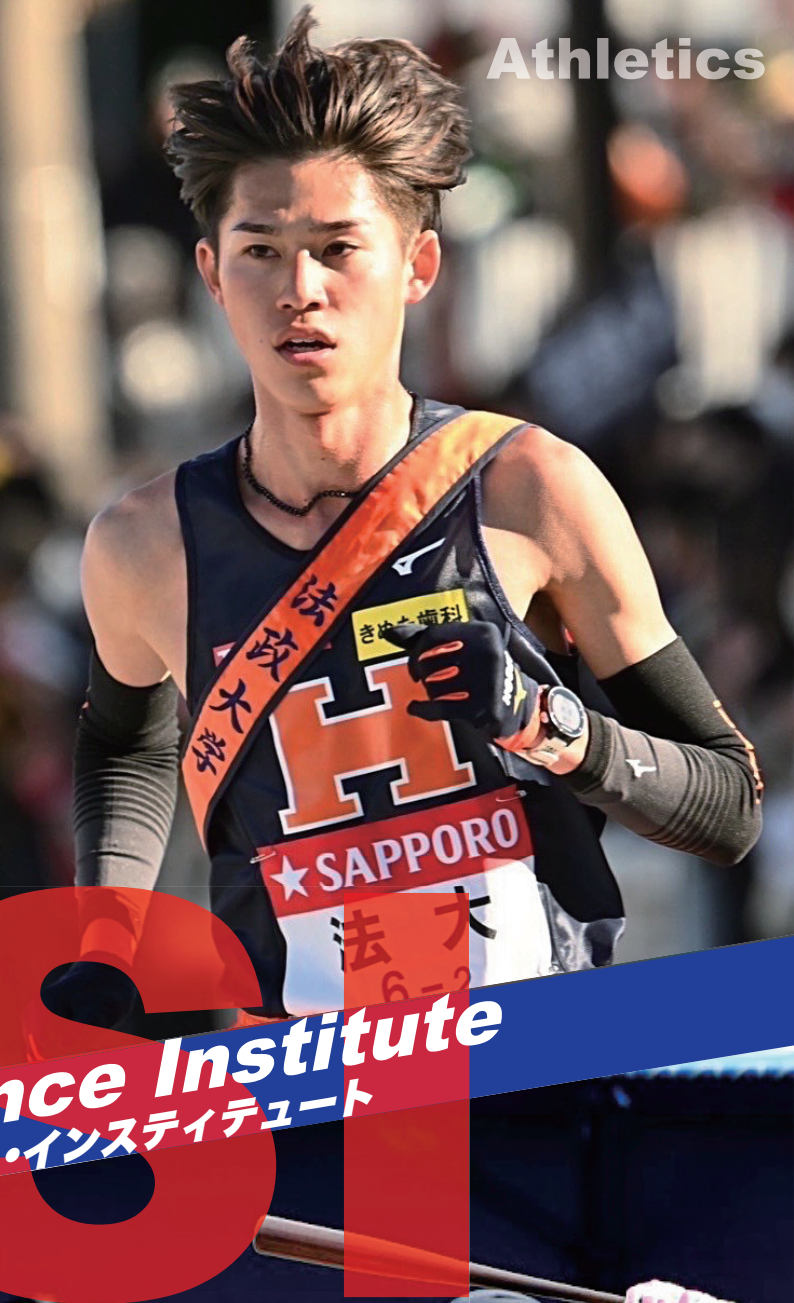
SSI コースにおいては取得できません。教員免許の取得を目指す場合は、所属学部で取得可能な教科に限られます。ただし、大学院スポーツ健康学研究科に進学し、所定の単位を修得することにより、体育教員免許を取得することが可能です。

Sports Science Institute



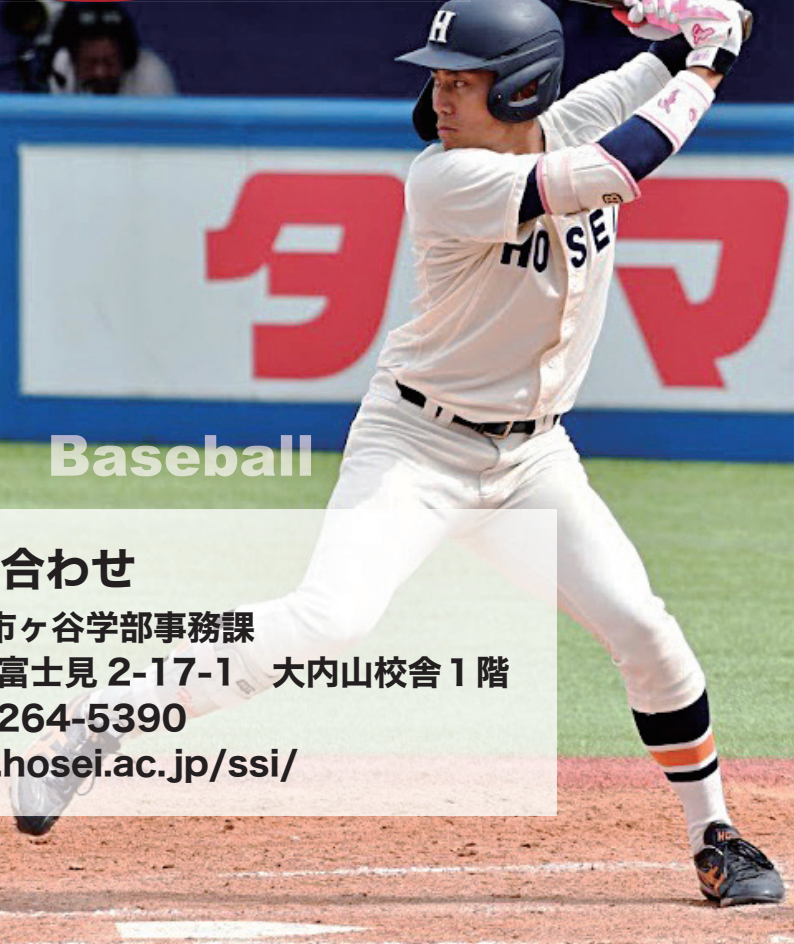
Badminton

Athletics



Sports Science Institute

スポーツ・サイエンス・インスティテュート



Soccer

Baseball

お問い合わせ

法政大学教務部市ヶ谷学部事務課

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1 大内山校舎 1 階

TEL: 03-3264-5390

HP: <http://www.hosei.ac.jp/ssi/>